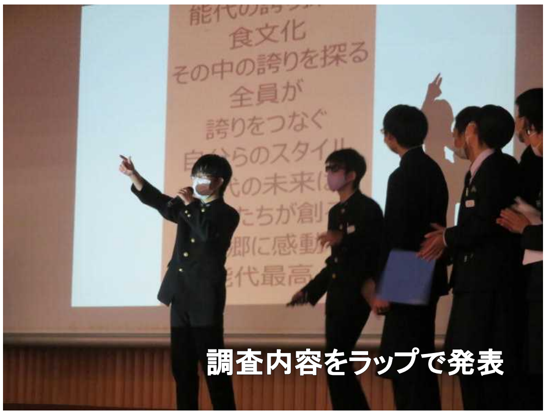
一中われら

第13号
11月17日発行
（文責　校長）

【校是】覇気　【学校教育目標】　未来を主体的に切り拓いていくことのできる、覇気ある生徒の育成

ふるさとを創る会で討議



調査内容をラップで発表

１１月１０日の５，６校時に、「ふるさとを創る会」を開催しました。２学期の総合的な学習として、各学年ごとのテーマの下、ふるさと探究学習を進めてきましたが、その集大成となる集会です。

第１部は学年代表による、調査したことや思ったこと、提言等の発表です。ラップ形式やニュースキャスター形式など、発表の仕方にも聴衆を引きつける工夫が見られました。１年生の発表（風の松原探究）に対しては、「自分たちにできることを行って、これからも積極的に松原に関わっていきたい」、２年生の発表（能代の食文化）に対しては「能代をよくしたいと思っている人がたくさんいることが分かった。こういう気持ちを自分たちも大切にしていきたい」「誇りに思えるところが能代にはたくさんある。自分たちも関わり情報発信していきたい」といった建設的な意見が多く出されていました。

第２部の最初は、佐藤陽仁さん、貝森晴帆さん、見上七星さんがパネラーとなり、「自分はふるさと能代とどう関わっていくか」について問題提起した後、学年を取り払ったグループで討議。「今の能代は元気不足。でもアピールポイントはたくさんあることに今回の探究学習で気付いた。自分たちがアピールしていく存在になりたい」といった意見が出されました。将来の能代を担おうとする高い志をもった生徒を育てることは本校の学校教育目標です。その気概を感じることのできた会でした。

パネルディスカッション

グループ討議